

**製品名: TGFβ RIII (リン酸化 Thr842) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05550**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	TGFBR3
別名	TGFBR3; Transforming growth factor beta receptor type 3; TGF-beta receptor type 3; TGFR-3; Betaglycan; Transforming growth factor beta receptor III; TGF-beta receptor type III
遺伝子 ID	7049.0
SwissProt ID	Q03167
免疫原	抗血清は、Thr842 のリン酸化部位周辺のヒト TGFβ 受容体 III 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 801-850

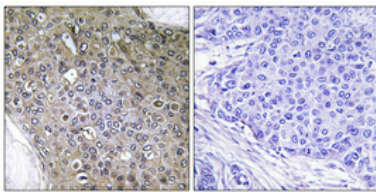
**背景**

この遺伝子座は、トランスフォーミング成長因子 (TGF)  $\beta$  タイプ III 受容体をコードしています。コードされている受容体は膜プロテオグリカンであり、他の TGF $\beta$  受容体スーパーファミリーメンバーと共受容体として機能することがよくあります。エクドメインのシェディングにより可溶性 TGFBR3 が生成され、これが TGF $\beta$  シグナル伝達を阻害する可能性があります。この受容体の発現低下は、様々な癌で観察されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2010 年 9 月]機能: TGF- $\beta$  に結合する。シグナル伝達受容体への提示のために TGF- $\beta$  を捕捉・保持する役割を担っている可能性がある。、PTM: グリコサミノグリカン基 (GAG) によって広範囲に修飾されている。、類似性: 1 つの ZP ドメインを含む。、細胞内局在: 血清および細胞外マトリックス中に膜結合型と可溶型の両方で存在する。、サブユニット: TCTEX1D4 と相互作用する。、

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。